

「減らそう犯罪」ひろしま安全なまちづくり推進条例改正の必要性

平成15年1月

「減らそう犯罪」ひろしま安全なまちづくり推進条例 施行

平成18年7月

「減らそう犯罪」ひろしま安全なまちづくり推進条例の改正

安全・安心なまちづくりへの県民・事業者の参加促進

地域ぐるみで子どもを守り育む取組の推進

防犯指針の策定

県民の治安に対する不安

列車内での痴漢等の犯罪が発生し被害者が助けを求めたにもかかわらず、乗務員や警察への通報などがなされず、救済の手がさしのべられなかった

県民の85.4%が治安に不安を感じていると回答
(H18.9月「減らそう犯罪」県民アンケート実施結果)

いつ自分が犯罪の被害にあうかもしれない
自分は助けて欲しい

必要性

「周りの人が放っておかない」と感じられれば、体感治安は向上し、犯罪企図者の実行行為断念につながる

犯罪の起こりにくい環境づくり

社会生活を営む上で基本となる相互扶助の精神や犯罪を見過ごさないという意識の高揚、犯罪の起こりにくいまちづくりに向けた県民意識の高まりが期待できる

県民の意識づくり

犯罪の起こりにくいまちづくり

条例改正

県民の体感治安の回復には至っていない

条例における県民の責務の現状

自らの安全確保
地域の安全確保のための自主的な活動
犯罪誘発、助長行為の禁止
県の実施する犯罪の起こりにくいまちづくりへの協力

全国では、5府県で警察官への通報など適切な措置をとるよう規定

啓発の促進

「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動
イメージアップ事業



モシカ

防犯のこと
もっとしっかり
かんがえよう

キャッチフレーズ
広島県人は、放っとけん人。

だからあなたもできるはず！

安全・安心アカデミー
防犯ボランティア交流会
防犯教室等の研修会

だれもが安全・安心を実感できる広島県の実現